

## ゆはず・めぐみ学級，みどり学級 生活単元学習指導案

日 時 平成 24 年 11 月 13 日（火） 5 校時

生 徒

児 童

指導者 T 1 (沼宮内中学校)

T 2 (沼宮内小学校)

支援員 (沼宮内小学校)

ファミリースクール研究主題

『小・中学校連携による確かな学力の育成』

～小・中学校で共通の課題をもち，同一方向を見据えた指導を通して～

### 【研究主題に関わって】

特別支援部のねらいは以下の 2 点に設定した。

1. 地域の特色を活かした料理に取り組むことにより，地域理解と食生活での自立性を高めること。
2. 地域・家庭の中で余暇を健全に過ごす力を高めること。

そのねらいを達成させるため，小中で以下のような点に留意しながら実践を行った。

- ・異年齢間の交流を設定することにより，児童生徒が自己肯定感を高めるような支援を工夫する。
- ・豊かな生活を作るスキルを増やしていけるように支援する。

### 1 単元名

めざせ！焼きうどんマスター！完結編

### 2 単元について

中学 3 年生は，進路決定に関わり，自分の将来について初めて向き合うという課題があり，それは特別支援学級の生徒においても大きなテーマである。それは進学をいかに叶えるかという課題にとどまらず，人間としての自立にどう踏み出すかという課題に取り組むことでもある。本校ゆはず・めぐみ学級では，中学校生活をいかにして適切に送るかということだけでなく，日常生活をどのようにして豊かに創っていくかという視点をもって自立活動の学習に取り組んでいる。学校では，農作物の栽培や調理実習に取り組んでいて，生徒の興味・関心も高い。しかし，家庭での経験は十分とは言えない面があり，授業の中でも，手順の理解や道具の扱い方には課題もある。今後も機会を多く設けて，自力でこれらの学習に取り組むことが

卒業後の生活をよりよく創り上げていく上で大切であると考えている。

岩手町では数年前から焼きうどんを町の名物として売り出している。前単元では地域に縁の深い焼きうどんを作ってみることで、地域への理解を深めながら調理実習を経験した。小学生との合同授業等も通じて、焼きうどんを作る技術は身に付きつつある。本単元ではそれらの発展として、地元産の素材を用いて「麺を作る段階からの焼きうどん作り」に取り組む。地域への愛着を育みながら、食生活での自立のきっかけとし、自らの生活を主体的に作り出そうとする態度を養いたい。

### 3 単元の目標

自分の力で麺を作り、素材からの焼きうどん作りに挑戦する。

### 4 指導計画

| 時数      | 学 習 活 動                        |
|---------|--------------------------------|
| 1       | ・生地作り方を学ぶ。<br>・地元の食材の使い方を工夫する。 |
| 2       | ・生地を教師と一緒に作る。                  |
| 3       | ・生地を教師と一緒にのぼし、切り、ゆでる。          |
| 4       | ・自力で生地を作る。                     |
| 5       | ・自力で生地をのぼし、切り、ゆでる。             |
| 6       | ・生地を工夫してみる。                    |
| 7       | ・工夫した生地をのぼし、切り、ゆでる。            |
| 8       | ・小学校に呼びかけ、ともに準備する。             |
| 9       | ・小学生に教えながら一緒に生地を作る。            |
| 10 (本時) | ・小学生に教えながら、生地をのぼし、切り、ゆでる。      |
| 11      | ・作った麺で焼きうどんを作る。                |
| 12      | ・まとめをする。                       |

### 5 本時の指導

#### (1) 本時の指導にあたって

本時は、自力で麺を作り、焼きうどんを作ることに挑戦するという学習の10時間目である。これまで数回にわたり、生地作り・のぼし・切り・ゆでの作業手順を経験し、さらに自分達の工夫を加えた麺を作ろうという意欲が高まってきた。小学生との交流の中で彼らが育てたイナキビを生地に入れる試みが本時である。中学生として、作業手順に従いながら小学生をリードし、のぼす・切る・ゆでるに取り組ませたい。指導者、支援者は中学生の主体性を重視しながら支援にあたりたい。

#### (2) ねらい

- ・中学生・・・小学生に教えながら、麺を作ることができる。
- ・小学生・・・中学生に教えてもらいながら活動し、麺の作り方を知ることができる。

〈個人のねらい〉

| 児童(学年)    | 学習の様子・児童の実態  | ねらい  |
|-----------|--|--|
| A<br>( 年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちが落ち着いていれば、非常に前向きな姿勢で学習にのぞめる。</li> <li>・現在は集団に全く参加できない。</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の場に一緒にいることができる。</li> </ul>                 |
| B<br>( 年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級での活動では、積極的に参加をすることができる。自分の欲求が優先でわがままな態度になることがある。</li> </ul>            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の欲求だけにとらわれず、分担された仕事に取り組むことができる。</li> </ul> |
| C<br>( 年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ではやらないが、学校では何でも積極的に行動しようとする。意欲を維持するのが難しい場合がある。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業手順を覚え、進んで行うことができる。</li> </ul>              |
| D<br>( 年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・できることを見付け、進んで行動しようとする。気持ちに技術がついていかない場合も多い。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いて丁寧に作業を進めることができる。</li> </ul>             |
| E<br>( 年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・好き嫌いが激しく、活動にも進んで参加できない。極端に不器用なので、意欲も高まらない。</li> </ul>                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示されたことを、拒否せず行うことができる。</li> </ul>            |
| F<br>( 年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調理活動など、好きな学習には積極的に参加する。感情コントロールが難しいため些細なことでも不機嫌になり活動に参加しなくなる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指示を受け、最後まで作業に進んで参加できる。</li> </ul>            |
| G<br>( 年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手先が不器用で、活動することに自信もないので、調理作業等に積極的には関わらない。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・分担された仕事を、やり抜くことができる。</li> </ul>              |
| H<br>( 年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲面では、やや消極的なところが見られるが、調理等への興味関心は高い。</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後まで責任をもって、小学生に教えることができる。</li> </ul>         |
| I<br>( 年) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲は高く、作業に積極的に取り組む。調理実習等も好きである。</li> </ul>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業手順を記憶して、小学生に教えることができる。</li> </ul>          |

(3)展開

| 過程        | 学習活動 (○)   | 指示・支援 (▽)と予想される児童・生徒の反応(●)  | 留意点 (※)<br>手立て (→)   | 教具等   |
|-----------|--|---|--|---|
| 導入<br>5分  | 1 あいさつをする。<br><br>2 前時の学習内容を想起し、本時の学習に見とおしをもつ。<br>○めあての確認<br>○手順の確認<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">みんなで協力してめんを作ろう。</div> | ▽グループに分かれて座る。(男女別)<br><br>●中学生…手順を思い出せる。<br>●小学生…めあてを知る。  | 始業前に手洗い身支度を<br>する。<br>※自分でも手順を確認できるようにしておく。<br>→黒板に手順を掲示する。  | 紙板書   |
| 展開<br>30分 | 3 作業に入る。<br>○生地をのばす<br><br>○生地を切る<br><br>○生地をゆでる   | ▽中学生にやってみせるように指示する。<br>●小学生…集中して見る。<br><br>▽のばした生地の切り方について、中学生にやってみせるよう指示する。<br>●小学生…幅をそろえるのに苦労する。<br>●中学生…小学生の作業を援助する。<br><br>▽切ったものから少しずつ集めて鍋に入れるように指示する。 | ※指導は中学生主導で行う。<br>※安全面に配慮する。<br>※必要に応じ包丁の安全な使い方を指導する。<br>※切り幅がそろうように声をかける。<br>※中学生が適宜コミュニケーションをとれるように、小学生の作業を観察する。<br>※あらかじめ湯を沸かしておく。<br>※少量をゆでる。 | 調理台<br>まな板<br>麺棒<br><br>包丁<br>おさえ板<br><br>鍋<br>ざる<br>菜箸 |
| 終末<br>10分 | 4 ゆであげた麺を試食する。<br>5 活動のまとめをする。<br>○手順を振り返る<br>○次時の予告をする<br>6 あいさつをする。  | ▽麺の固さ、舌ざわりを確かめる。<br>●小・中…感想を発表する。   | ※やけどしないように注意する。  |   |

(4) 板書計画

